



第36号

所馬場 行窓会
場ケ同窓会
区竜校同窓会
区高同窓会
水沢水沢
TEL 0197-24-3151

平成十九年度 同窓会総会

去る八月十一日(土)、水沢グラウンドホテルにおいて、今年度の同窓会総会が開催されました。八月の第二土曜日開催を決めて三度目になる今年度の総会では、恩師として、石川嘉信先生(数学)と及川征一先生(英語)のお二方をお招きして、にぎやかな中にもあたたかい雰囲気の中で進められました。

総会の部では、過年度の事業・決算や今年度の事業・予算などの承認をいただいた後、いよいよ三年後に控えた創立百周年記念事業に向けての準備について、ご参加の皆様からいろいろな角度から建設的なご発言をいただきまして、事業推進の足がかりができたものと思います。今後、同窓生の皆様から多くのご意見やご支援を賜って、水高の新たな百年に向けての周年記念事業をよりよい形で実施できれば幸いです。

また、関東地区同窓会から「水沢高校関東地区同窓会」のホームページを立ち上げ、水沢高校や他支部とリンクを掛けたという提案がなされました。現在ネット上に公開されていますので、皆様閲覧・ご参加下さい。また、水沢高校のホームページ(Url: <http://www2.iwate-ed.jp/msw-1/>)も是非ご覧下さい。

総会後、及川征一先生による「ああ、水高、二度の入学」という演題で、スライドを放映しながら、ご自身が水高生であった時のこと、教員として赴任した時のことを回想する、という形式のご講演をいただきました。あの懐かしい「ボロ校舎」や、現在は男女混合クラスなので

考えられない「園遊会」など、若い世代の同窓生が目丸くするような話題や、先生自身が打ち込んでいらつしたテニスの話題など、昔から今に至る水高の歴史を俯瞰できるような生き生きとした先生のお話に、一時間の講演時間があっという間に過ぎてしまいました。

総会・講演会の後は、お楽しみ懇親会で、ここから先は筆者も何が何やら。記憶はお勉強と同じで、忘却の彼方へと消し飛んでいます。最後に校歌で締めくくった楽しい時間を過ごしたことは覚えています。是非皆様も二十年度総会にはご参加下さい。



急ぐなかれ、休むなかれ

同窓会長 及川 源悦郎

ではありますが、これまできちんと使われて来た言葉や言葉遣いが、最近何故か急速に変化しているように思えます。

まず第一に、漢字で表現すれば、その内容も容易に理解出来るのに、カタカナやローマ字言葉が氾濫しています。中には、これまでにない概念の表現だから仕方ないものもあるかもしれませんが、近頃よく耳にするKYだかYKだかなんて、メールの時便利だとのことですが、便利さの為なら何をしてもいいのでしょうか。

なく、してはならないことなのですが。

言葉は人間を人間たらしめている存在で、その言葉遣いによって、その人となりも表すものとして決して過言ではありません。

「偽」や「言葉」をはじめ、多種多様、数多くの問題を抱えている我々ですが、新渡戸稲造の言葉「急ぐなかれ、休むなかれ(Haste Not, Rest Not)」を「己の胸に言い聞かせ、解決の為に努力していきましょう。



及川先生



石川先生





ご挨拶

校長 佐々木 繁 夫

同窓会の皆様には、日頃物心にわたりご支援ご協力を賜っておりますことに厚く御礼を申し上げます。今年度は地元水沢での同窓会総会のほかに、盛岡支部、関東支部、仙台支部でも同窓会が開催され、ご招待を受け参加させていただくことができました。心温まるご対応に心から感謝申し上げます。どの支部におきましても、同窓会の皆様の活躍ぶりを目の当たりにすると、水高の伝統を痛感させられます。また同様に、母校水高を誇りに思う気持ちもひしひしと伝わり、なお一層襟を正して母校発展のため尽くさなければと思いを新たにしているところであります。

また、各会場とも、貴重な時間を割いていただき長野耕定水高100周年記念事業協賛会設立準備会代表にもご同席をお願いしました。平成22年に予定されております水高創立100周年記念式典に向けて、各種事業を計画させていただいておりましたが、事業は同窓生の皆様のご支援によりはじめて実施可能なものでありますので、なにとぞご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。また、これを機に、全国各地で同窓生の掘り起こしが行われ、在学当時の学級、学年、部活などの集まりがもたれる良いチャンスにな

れば幸いと願っている所であります。

本年度在校生の活躍ぶりにつきまは、他の記事に紹介されておりますが、生徒達は本当に色々な才能、個性をもっていと感心させられております。今の若者は、とよく言われますが、本校生を見ている限りではそのような心配を感じません。気持ちが通じる若者達であります。3年間の在学期間は、終わってみれば本当にあつという間というのが正直な生徒諸君の感想だろうと思いますが、水高で学んだ同窓生としてのつながりは一生です。これから各地に卒業生が飛び立っていき、皆様とどこかで不思議な縁に触れることもあるかと思えます。その折には、未熟な若者とは思いますが、どうか暖かく先輩諸氏からのご指導、ご支援を賜れば幸いです。

最後に、私事ではありますが、4年間水沢高校で勤めさせていただきましたがいよいよ終わりのときがきました。これまで、色々な場面で頂戴いたしましたご厚情に対し、この場をお借りして心から厚く感謝を申し上げます。水沢高校並びに全ての同窓生の皆様のご活躍を心からお祈り申し上げます。

盛岡支部総会

〜いろいろな人に支えられながら十九年〜

平成19年の同窓会総会は、例年通り7月に開催したが、どこの支部でも同じと思われるが、年々参加者が減少してきていることが悩みである。

思えば、一時中断していた同窓会を再開したのが平成2年で、今年で19年目にあたる。当時、参加の返事があつた方が90名、そこに100名を超える参加があり、事務局3名で大いにあわてたことがとても懐かしく感じられる。

どうも、毎年開いているとマンネリ化するようで、参加者が年々減っているのが一番の悩みである。

それと、個人情報保護という理由で案内先の住所がわからなくなっていることである。昨年、野球部のカンパをするにも、だれも状況を説明してくれる人がいなくて、水沢在住の演劇の渡部瑛子さんに呼びかけてもらって何とか。今年、事前にはっきり準備をして対応をしたいと考えている。

それでも、及川同窓会会長、校長先生、そして同窓会担当の先生方には毎年出席いただいているし、本当に忙しいところを平野達夫参議院議員、小野寺好真会議員にもいつも参加いただいている。参加者が少なくなっても、毎年開催するから意味があると思ひ、自分をなぐさめている。

(盛岡支部 小野 功)



支部だより

関東地区同窓会

第14回関東地区同窓会は、平成19年11月10日、大手町の経団連会館に80名を超える会員が集い開催された。水沢から佐々木校長はじめ、山口副校長、同窓会本部の後藤副会長、長野百周年記念事業実行委員長に御出席頂いた。午前11時30分、千葉佳胤さん(昭和37年卒)の懐かしい故郷の言葉で総会が開会された。小野スミ子会長(昭和25年卒)の挨拶は、後藤新平先生の言葉「他人のお世話にならぬよう、他人のお世話をするように、そして報いを求めぬように」で締め括られた。続いて只野康夫副会長の経過報告が行われた。今回の主要議案としてホームページの開設があったが、出席の皆さんのご理解を頂き承認された。

総会を終え特別講演に移り、「多様化し変貌する世界とアジア、日本が直面する課題とは」国際メディア取材の35年―と題し、共同通信社長室顧問の山口光氏(昭和38年卒)に御講演頂いた。学生時代や記者として交流された国内外の政治家や著名な方々について、また併せて世界の動向について、非常に興味深いお話を伺った。

懇親パーティーでは、懐かしい顔を見つけ旧交を温める輪ができた。歳月を重ね容姿は変わっても、誰もが青春に戻った一時であった。最後に全員で校歌を斉唱し会を終えた。

この同窓会の模様は、ホームページ <http://www.imizuko.com> に掲載しておりますので御覧下さい。(関東地区同窓会 工藤康博)

仙台支部総会

平成二十年一月十八日、仙台支部総会並びに懇親会がハールネル仙台にて三年振りに開催されました。ご来賓として本部から川嶋副会長・長野百周年記念事業協賛会設立準備会代表、母校から山口副校長・鹿野先生をお迎えし大盛況裏に終了いたしました。今回特に注目すべきは長年弁護士として活躍されている菅野國夫(26年卒)支部会長の記念講演があり、家庭裁判事件として離婚・相続事件、今後導入される裁判員制度等の身近で興味ある講演を頂きました。その後懇親会に移り卒業年ごとの自己紹介になると和気あいあいそのもの、大きな笑い声が絶えませんでした。最後は四十四年卒業組が中心となり肩を組み合つての校歌斉唱で締めくくりました。同窓会というと爺婆集と見られがちですが豊かな人生の交流の輪が広がる絶好の機会、次回は二十歳〜五十歳台の紳士淑女の参加を心よりお待ちしております。

連絡先

zaz77zaz@yahoo.co.jp (仙台支部 板屋 宏治)

在仙・水沢高等学校同窓会



【同窓会ホームページの開設の御案内】

関東地区同窓会では、同窓会情報の発信はもとより、会員相互の情報交換と交流、水高生や水高卒業の大学生への情報提供等を目的にホームページを開設しました。運営管理は関東地区同窓会が行いますが、トップページ名を「岩手県立水沢高等学校同窓会一龍ヶ丘一」(<http://www.imizuko.com>) としました。このホームページは各支部や同期会でも利用いただける構成と機能を備えております。皆様のアクセスや情報提供をお待ちしております。

(関東地区同窓会 工藤康博)



菊地孝子(水)が優勝

女子の部で県勢初
菊地孝子(水)が優勝
女子の部で県勢初
菊地孝子(水)が優勝
女子の部で県勢初

菊地孝子(高50回・平成10卒)胆江日日新聞



看護師から転身

看護から美術へ
看護師から転身
看護から美術へ

絹川陽子(高43回・平成3卒)胆江日日新聞

夢は五輪のピッチ



アジア大会を経験 「北京の舞台ぜひ」

アジア大会を経験
北京の舞台ぜひ
アジア大会を経験

高橋早織(高44回・平成4卒)岩手日報

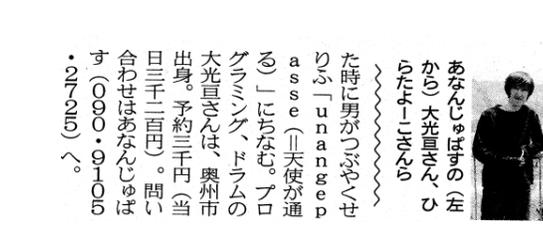
西洋美術の道志す



西洋美術の道志す
イタリア・ピサ大へ
西洋美術の道志す

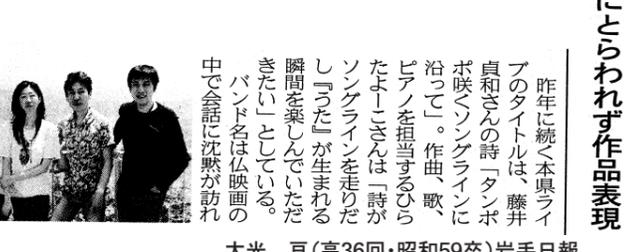
絹川陽子(高43回・平成3卒)胆江日日新聞

形にとらわれず作品表現



形にとらわれず作品表現
大光 亘(高36回・昭和59卒)岩手日報

第92回科展彫刻部門初選した



第92回科展彫刻部門初選した
藤沢 恵さん(22)
第92回科展彫刻部門初選した

藤沢 恵(高55回・平成15卒)胆江日日新聞



「オシム語」 絶妙パス

代表監督通訳の千田さん
難解な表現的確に
ペルー戦勝利も支える
代表監督通訳の千田さん

千田 善(高29回・昭和52卒)岩手日報



変死検案800件超す

死者の人権 守る使命感
「苦痛感じたことない」
医学の立場で淡々と
死者の人権 守る使命感

今野讓二(高23回・昭和46卒)胆江日日新聞

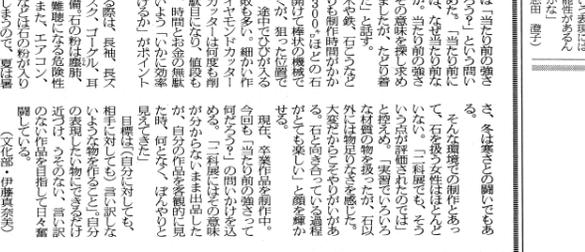


学芸 10/16

学芸 10/16
千葉 奈穂子さん
学芸 10/16

千葉奈穂子(高43回・平成3卒)岩手日報

生活と風土に焦点 写真表現の探求続く



生活と風土に焦点
写真表現の探求続く
生活と風土に焦点

千葉奈穂子(高43回・平成3卒)岩手日報

平成19年度部活動の記録

《運動部》

- 野球
 - ・春季地区予選代表決定戦 敗退
 - ・全国高校野球選手権岩手大会 2回戦
 - ・秋季高校野球県大会 ベスト16
- 陸上競技
 - ・県新人大会
 - 男子 4×100Mリレー 準決勝進出
 - 女子 100M 菅原 悠 準決勝進出
- 卓球
 - ・県高総体 男子団体 ベスト8
 - 男子ダブルス 鈴木・吉岡組 ベスト16
 - 山路・芳沢組 ベスト16
 - 女子団体 佐々木・青木組 ベスト8
 - 女子ダブルス 佐々木・青木組 ベスト8
- バドミントン
 - ・県高総体 男子団体 2回戦
 - 男子ダブルス 八幡・及川組 2回戦
 - 女子団体 2回戦
 - 女子シングルス 2回戦
- ハンドボール
 - ・県高総体 男子 2回戦敗退
 - 女子 1回戦敗退
 - ・県新人大会 男子 2回戦敗退
 - 女子 2回戦敗退
- バレーボール
 - ・県高総体 男子 2回戦敗退
 - 女子 2回戦敗退
 - ・県新人大会 男子 地区予選敗退
 - 女子 2回戦敗退
 - ・春高バレー岩手県大会
 - 男子 2回戦敗退
 - 女子 1回戦敗退
- バスケットボール
 - ・県高総体 男子 ベスト16
 - 女子 ベスト16
- 柔道
 - ・県高総体 男子団体 予選リーグ敗退
 - 男子個人 和田建志 ベスト16
 - 金城翔太 ベスト16
 - 千葉芳敬 ベスト16
 - 予選リーグ敗退
 - 女子団体 千葉芳敬 ベスト16
 - 体重別県大会
 - 100kg超級 千葉芳敬 優勝
 - 100kg超級 千葉芳敬 準優勝
- 剣道
 - ・県高総体 男子団体 ベスト16
 - 男子個人 大和田慎 ベスト16
 - 女子団体 予選リーグ敗退
- 弓道
 - ・県高総体 男子団体 第7位
 - 女子団体 ベスト16
 - ・県新人大会 男子団体 ベスト18
 - 女子団体 ベスト18
 - ・全国選抜大会岩手県予選
 - 女子団体 第2位
- ラグビー
 - ・県高総体 Bブロック昇格
 - ・全国大会予選 1回戦敗退
 - ・県新人大会 Bブロック残留
- サッカー
 - ・県高総体 男子 1回戦
 - 女子 優勝
 - ・東北大会 女子 (3年ぶり15回目) ベスト8
 - ・県新人大会 男子 ベスト16
 - 女子 第3位
- サッカークラブ
 - ・県民体育大会 男子 ベスト16
 - 女子 ベスト16
 - ・県新人大会 男子 2回戦
 - 女子 1回戦
- 水泳
 - ・県高総体
 - 男子100M背泳ぎ 佐藤瞭久 第2位
 - 100M平泳ぎ 木村真二 第3位
 - 他6人7種目、リレー3種目 他6人7種目、リレー3種目 (東北大会出場)
 - 女子100M平泳ぎ 小原 幸 第3位
 - 200M平泳ぎ 瀨川若葉 第3位
 - ・県民体育大会
 - 男子100M背泳ぎ 佐藤瞭久 第2位
 - 200M背泳ぎ 佐藤瞭久 第2位
 - 女子200M平泳ぎ 瀨川若葉 第3位
 - 100M平泳ぎ 小原 幸 第2位
 - ・県新人大会
 - 男子100M背泳ぎ 佐藤瞭久 第1位

《文化部》

- 吹奏楽
 - ・全日本吹奏楽コンクール県南地区大会 金賞
 - ・全日本吹奏楽コンクール岩手県大会 銀賞
 - ・全日本アンサンブルコンテスト岩手県大会 打楽器五重奏・金管八重奏・クラリネット三重奏 銀賞
 - 金管五重奏 銅賞
- 音楽
 - ・第60回全日本合唱コンクール岩手県大会 銅賞
 - ・第17回岩手県合唱小アンサンブルコンテスト 女声合唱団 金賞
 - 混声合唱団 銀賞
- 演劇
 - ・第30回岩手県高総文祭演劇部門 優秀賞
- 囲碁・将棋
 - ・岩手県高等学校将棋大会 優勝
 - 個人A級 田内 遼
- 文化祭
 - ・全日本吹奏楽コンクール(全国大会出場) 佐藤瞭久 第1位
 - 100Mバタフライ 鈴木一誠 第3位
 - 200Mバタフライ 鈴木一誠 第1位
 - 400Mメドレーリレー (佐藤・川原・鈴木・及川) 第3位
 - 400Mリレー (佐藤・八幡・鈴木・及川) 第3位
 - 女子200M平泳ぎ 瀨川若葉 第3位
 - 100M平泳ぎ 小原 幸 第2位
- 書道
 - ・第30回岩手県高総文祭 書道部門(半切) 藤田 翔 入選
 - (全紙) 菅原千春 入選
 - ・県高文連将棋部門新人大会 団体戦Aクラス 第3位
 - (菊池悠介・千葉茂仁・清水 遼)
 - ・全国高文連将棋部門(島根大会) 個人戦 田内 遼 第5位
 - 個人戦 田内 遼 ベスト16
 - ・全国竜王戦(将棋)(福岡大会) 個人戦 田内 遼 優勝
 - ・県高文連将棋部門県大会 個人戦 千葉茂仁 ベスト8
 - (東北大会出場)
 - ・県高文連将棋部門新人大会 個人戦 千葉茂仁 優勝
 - ・全国高文連将棋部門(高根大会) 個人戦 田内 遼 第5位
 - 個人戦 田内 遼 ベスト16
 - ・全国竜王戦(将棋)(福岡大会) 個人戦 田内 遼 優勝
 - ・県高文連将棋部門新人大会 個人戦 千葉茂仁 ベスト8
 - (東北大会出場)
- 文芸
 - ・第22回全国高等学校文芸コンクール 文芸誌部門『煌4号』 入選
 - ・第29回岩手県高等学校文芸コンクール 文芸誌部門『煌4号』 優秀賞
 - (東北大会代表(秋田県))
 - 詩部門 羽藤聖美 優秀賞
 - 小説部門 塩原拓人 優良賞
 - ・第30回岩手県高総文祭美術工芸展 絵画部門 特賞
 - 立休部門 羽藤聖美・及川由貴・伊藤沙紀 特賞
 - ・第30回岩手県高総文祭 写真 特賞
- 家庭クラブ
 - ・第55回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会 ホームプロジェクトの部 産業教育振興中央会賞(全国第2位)
 - ・第28回全国高校生ホームプロジェクトコンクール 渡邊 茜 優秀賞
- 俳句
 - ・第10回俳句甲子園 東北ブロック仙台大会 立野夏希・佐藤紹・佐藤千晶・福井有紗・塩原拓人 優勝(全国大会出場)
- フオーク・ロック
 - ・第30回岩手県高総文祭 第7回軽音楽発表会 優秀賞
- その他委員会・個人活動
 - 写真部門 富士菜都美 最優秀賞
 - (20年度全国高総文祭推薦)

平成19年度激励金交付報告 (2月8日現在)

今年度、東北大会・全国大会に出場した部に、同窓会会計より総額三十六万円の激励金を支出しました。交付対象の部と交付額は以下の通りです。今後、部活動面において全国を経験する在校生が増えることを期待しています。

- ソフトテニス部(男子) 団体戦・東北大会出場
- サッカー部(女子) 県優勝・東北大会出場
- バドミントン部(女子) 個人戦・東北大会出場
- 水泳部 個人・東北大会出場
- 囲碁・将棋部 全国高総文祭出場
- 家庭クラブ 全国将棋竜王戦出場
- 家庭クラブ 東北地区新人将棋大会出場
- 家庭クラブ 全国家庭クラブ連盟研究発表大会出場
- 俳句同好会 俳句甲子園出場
- 文芸部 北海道・東北ブロック大会出場
- 剣道部(女子) 団体戦・東北大会出場

平成20年度 岩手県立水沢高等学校 同窓会 総会

日時 平成20年8月9日(土)
場所 水沢グランドホテル 水沢区東町40
電話 (25)8311

※詳しくはホームページをご覧ください
URL <http://www2.iwate-ed.jp/msw-h/>

平成十九年度(昨春) 職員異動

◆転入

- 山口 成美 (副校長) 一関(定)
小川 尚人 (英語) 釜石南
菊池 治 (国語) 盛岡市立
上佐 博司 (国語) 盛岡市立
久保 朱美 (英語) 盛岡四
清野 達雄 (数学) 青森
西館智香子 (数学) 盛岡市立
久保 賢治 (地歴) 宮古北
伊東 由香理 (養護教諭) 福岡
岩間 明希 (音楽) 新任
菊池 享 (理科) 黒沢尻北
小野寺金雄 (理科) 花巻北
菊池 修子 (事務) 水沢農
佐藤 友也 (事務) 黒沢尻工
京野 聖子 (事務) 民間
菊地 純子 (事務) 民間

◆転出

- 田中 良晴 (英語) 花泉
佐伯 幸雄 (数学) 宮古
橋本 眞一 (英語) 西和賀
佐々木敬二 (国語) 不来方
館澤 貴博 (地歴) 釜石南
照井 貴子 (体育) 西和賀
千葉 紀一 (数学) 岩谷堂農林
鱒沢 直美 (国語) 一関二
葛岡恵美子 (養護教諭) 一関工
達下 才子 (実習教諭) 黒沢尻北
小館 保雄 (事務) 県教委事務局
鈴木 一彦 (副校長)
佐藤 清吾 (事務)

後輩も頑張っています

最近3年間の大学合格状況

Table with columns for graduation year (18, 17, 16) and university names. It lists various universities and their corresponding number of graduates for each year.

◆ご注意願います◆

最近、同窓会および学校の名をかたつて、「同窓生名簿を作り直すため」などと称して、卒業生の連絡先を聞き出そうとする電話が、卒業生の実家などに頻繁にかかってくる場合があります。中には「同窓会の〇〇だが「事務室の〇〇だが」と偽名を名乗ってしつこく聞き出そうとするケースもあるようです。同窓会および学校から卒業生・在校生に関する個人情報をお聞き出すことは一切ありませんので、どうか注意下さい。なお、ご家族の皆様にも注意下さるようお願いいたします。

◆お願い

宛先不明で戻ってくる会報が多くなっております。住所変更の際には、お手数ですが本校の同窓会担当までご一報くださいますようお願いいたします。※名簿は個人情報保護の観点から事務局および会報発送業者以外には一切流出しないようにしております。住所変更などの問い合わせ先 岩手県立水沢高等学校 TEL 0197(24) 3152 FAX 0197(22) 3037 メール yukiinokisho@msw-h.iwate-ed.jp

◆事務室からのお知らせ◆

平成19年4月から、卒業生等が卒業証明書等の交付を受ける場合、手数料が必要になります。一通あたり、400円分の岩手県収入証紙(購入場所:岩手銀行、市役所、各地方振興局)を添付して申請して下さい。詳しくは事務室までお問い合わせ下さい。

編集後記

今年度も、様々な分野で活躍されている方々を紹介させて頂いていただきました。平成22年に水沢高校は100周年を迎えます。同窓生一丸となったバックアップ体制で、在校生を盛り上げていければと思います。全国の各支部や同窓会などには、ぜひ御出席いただきますようお願いいたします。